



2017年8月24日

報道関係 各位

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

海外からリオパラリンピックメダリストを招聘し、
世界トップレベルのレースを展開！！

<東日本大震災復興支援>

World Para Swimming 公認
2017 ジャパンパラ水泳競技大会
取材のご案内

- 日時：2017年9月1日（金）17時～ 記者会見実施
9月2日（土）12時40分 開始式、9～17時 競技（午前予選、午後決勝）
9月3日（日）9～17時 競技（午前予選、午後決勝）
- 場所：東京辰巳国際水泳場（江東区辰巳2-8-10）

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会は、「World Para Swimming 公認 2017 ジャパンパラ水泳競技大会」を2017年9月2日（土）から3日（日）までの二日間、東京辰巳国際水泳場で開催します。

本年は、大会として初めてスペイン2選手、ニュージーランド2選手の計4選手を海外から招聘し、世界のトップレベルの戦いが繰り広げられることとなりました。（別紙ご参照）
また、海外招聘選手と日本代表選手の前日会見（9月1日17時予定）を実施します。

ご多用中と存じますが、ぜひともご取材のご検討のほど、よろしくお願いいたします。

取材を希望される報道関係者の方は、別紙「取材申込書」に必要事項を記入し、
前日記者会見については8月31日（木）まで、大会については9月1日（金）までに、
FAX（03-3545-0417）に申請をお願いいたします。

※本件の取材は報道を目的とした法人、および法人から委託を受けた方を対象としております。
報道以外の目的での取材ご希望の方は、別途、企画書の御送付をお願いいたします。
内容を検討させて頂き、事務局より取材の可否についてご連絡させていただきます。

<本件に関する報道関係者様からの問い合わせ先>

World Para Swimming 公認 2017 ジャパンパラ水泳競技大会広報事務局（電通 PR 内）
担当：青田/藤枝
TEL :03-5565-6795（藤枝） 080-1384-9565（青田） FAX :03-3545-0417



<大会概要>

- 日時：2017年9月1日（金）17時～ 記者会見（報道受付 16時～）
 9月2日（土）9時～17時 競技（午前予選、午後決勝）
 （報道受付 8時30分～）
 12時40分 開始式
 9月3日（日） 9時～17時 競技（午前予選、午後決勝）
 （報道受付 8時30分～）
- 場所：東京辰巳国際水泳場（江東区辰巳2-8-10）
- 主催：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
- 共催：一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟（JPSF）、一般社団法人日本知的障害者水泳連盟（JSFP）、一般社団法人日本ろう者水泳協会（JDSA）
- 入場無料
 - ◇ジャパンパラ競技大会オフィシャルサイト <http://www.jsad.or.jp/japanpara/>
 - ◇ライブ配信 <http://www.ustream.tv/channel1/CYWL2Ltcvtu>

※ご取材の際は、必ず報道受付をお通りいただき、受付をお済ませください。取材方法の詳細はあらためてご案内します。

■競技日程（予定）

9月2日(土)				9月3日(日)			
午前の部(予選)				午前の部(予選)			
1	女子	150m	個人メドレー	27	女子	200m	自由形
2	男子	150m	個人メドレー	28	男子	200m	自由形
3	女子	200m	個人メドレー	29	女子	100m	背泳ぎ
4	男子	200m	個人メドレー	30	男子	100m	背泳ぎ
5	女子	400m	自由形	31	女子	50m	背泳ぎ (聴覚 OP 含む)
6	男子	400m	自由形	32	男子	50m	背泳ぎ (聴覚 OP 含む)
7	女子	100m	平泳ぎ	33	女子	50m	バタフライ (聴覚 OP 含む)
8	男子	100m	平泳ぎ	34	男子	50m	バタフライ (聴覚 OP 含む)
9	女子	50m	平泳ぎ (聴覚 OP 含む)	35	女子	100m	バタフライ
10	男子	50m	平泳ぎ (聴覚 OP 含む)	36	男子	100m	バタフライ
11	女子	50m	自由形 (OP 含む)	37	女子	100m	自由形
12	男子	50m	自由形 (OP 含む)	38	男子	100m	自由形
午後の部(決勝)				午後の部(決勝)			
13	女子	150m	個人メドレー	39	女子	200m	自由形
14	男子	150m	個人メドレー	40	男子	200m	自由形
15	女子	200m	個人メドレー	41	女子	100m	背泳ぎ
16	男子	200m	個人メドレー	42	男子	100m	背泳ぎ
17	女子	400m	自由形	43	女子	50m	背泳ぎ
18	男子	400m	自由形	44	男子	50m	背泳ぎ
19	女子	100m	平泳ぎ	45	女子	50m	バタフライ
20	男子	100m	平泳ぎ	46	男子	50m	バタフライ
21	女子	50m	平泳ぎ	47	女子	100m	バタフライ
22	男子	50m	平泳ぎ	48	男子	100m	バタフライ
23	女子	50m	自由形	49	女子	100m	自由形
24	男子	50m	自由形	50	男子	100m	自由形



取材申込書

FAX : 03-3545-0417

東日本大震災復興支援

World Para Swimming 公認 2017 ジャパンパラ水泳競技大会

日時：2017年9月2日（土）、3日（日）

※前日記者会見 9月1日（金）

お手数ですが、下記項目をご記入のうえ、記者会見については8月31日（木）まで、大会については9月1日（金）までに、上記FAX 番号宛までご返信お願い申し上げます。

貴社名	
貴媒体名・ご所属	
ご芳名	(計 名)
取材ご希望日 (希望日に○)	9月1日（金） 前日記者会見 9月2日（土） / 3日（日）
ご連絡先	(電話番号) (携帯電話)
	(メールアドレス)
撮影の有無	有 (ムービー 台 / スチール 台) / 無
取材目的	報道 / その他企画
備考欄	

※本大会の取材にあたり、社会的モラルに反する行為、大会および大会関係者・競技者を侮辱する行為・言動をしたと主催者が判断した場合は、取材資格を取り消させていただき、本大会で取材した作品の公表を禁止させていただきます。予めご了承ください。



<ご参考>

■大会のみどころ

リオパラリンピックのメダリストを筆頭に、日本代表の次世代を担うホープ・池愛里や小池さくらなども出場。また、鈴木孝幸の宿命のライバル、スペイン男子・Miguel 選手や、世界ランキング 1 位のスペイン女子・Michelle 選手など、海外からトップレベルの4選手を招聘。2020 に向けて現段階の力を推し量る重要な試合になります。また、観客の方々にとっては世界トップレベルの泳ぎを目の当たりにできる貴重な機会になります。

■海外招聘選手紹介

◆スペイン女子 Michelle Alonso Morales 選手

Michelle Alonso Morales 選手はスペイン国内では、彼女の出身地をもじった「テネリフェ島の人魚」として親しまれている有名アスリートです。2012 年に若干 18 歳でロンドンパラリンピックに出場した彼女は、得意の 100m 平泳ぎで当時の世界新記録を打ちたて、金メダルを獲得しました。その後も活躍を続け、リオパラリンピックでも金メダルを獲得し、当時からさらに記録を縮めた世界記録を保持しています。

2011 年に世界ランキング 1 位を獲得して以来、2015 年を除いた 6 度も年間世界ランキング 1 位に君臨している Michelle 選手に注目してください。

◆スペイン男子 Miguel Luque Avila 選手

Miguel Luque Avila 選手は 2000 年のシドニーパラリンピックから、昨年開催されたリオパラリンピックまで、5 大会連続でパラリンピック出場を果たし、全ての大会でメダルを獲得している鉄人です。

その功績を称えられ、彼の住む PARETS DEL VALLES という街の公営プールには「Miguel Luque Piscina Municipal」と、彼の名前が冠されています。

日本の鈴木孝幸選手は Miguel 選手と同じクラスで、パラリンピックの舞台では初出場となった 2004 年シドニー大会から同じレースでしのぎを削りあう関係です。2008 年の北京大会ではお互いの得意種目 50m 平泳ぎで、当時世界新記録のタイムを出して鈴木選手が勝利。150m 個人メドレーでも鈴木選手が銅メダルを獲得、Miguel 選手が 4 位とライバル対決を繰り広げました。

2012 年ロンドン大会では 50m 平泳ぎにおいて Miguel 選手が銀メダル、鈴木選手が銅メダルを獲得、2016 年リオ大会では Miguel 選手が銀メダル、鈴木選手が 4 位と、二人のライバル関係は現在も続いています。

◆ニュージーランド女子 Rebecca Dubber 選手

Rebecca Dubber 選手は 1993 年にオークランドで生まれました。先天性の難病で下肢に障がいがありますが、水の中では障がいに関係なく泳ぐことができると気づき、11 歳の時に地元のスイミングクラブに参加して競技を始めました。

2010 年の IPC スイミング世界選手権で女子 100m 背泳ぎ S7 で銅メダルを獲得して注目を集めます。ロンドン 2012 パラリンピック競技大会での活躍が期待されましたが、怪我に悩まされ、十分な準備ができずに臨んだ結果、メダルを獲得することができませんでした。その後、怪我をした両肘の治療のために手術をした結果、2013 年のシーズンは試合に出ること



もできませんでした。

治療から復帰した後、2014年のPan Pacific Para Championshipsで女子100m背泳ぎS7と、女子400m自由形S7で銀メダルを獲得し、復帰を果たします。翌年の2015 IPC Swimming World Championshipsでも同じ二種目で銀メダルを獲得しました。

そして昨年開催されたリオ2016パラリンピック競技大会では女子100m背泳ぎS7で、念願のパラリンピック初メダルとなる銅メダルを獲得。苦難を乗り越えた世界トップレベルの泳ぎに注目です。

◆ニュージーランド女子 Sophie Pascoe 選手

Sophie Pascoe選手は母国ニュージーランドで国宝と呼ばれるほど有名な水泳選手です。2006年当時13歳の時に、国際大会初参加となった世界選手権でいきなり銅メダルを獲得。そして当時ニュージーランドチーム最年少の若手15歳で初出場した2008北京パラリンピック競技大会では、3つの金メダルと1つの銀メダルを獲得するという大活躍をし、現在にいたるまで世界を舞台に活躍を続けています。

彼女は200m個人メドレーSM10、400m個人メドレーSM10、50mバタフライS10、100mバタフライS10の4種目で世界記録を保持しています。

その年のニュージーランド国内の優れたスポーツ選手に贈られる、ニュージーランドのスポーツ界で最も名誉ある賞であるハルバーク・アワードにおいて、最優秀パラアスリート賞を4度獲得(2016年現在全6回の受賞のうち)、2016年には優れたリーダーシップスキルを認められた選手に贈られるリーダーシップ賞を、パラアスリートとして初めて獲得しました。

国際パラリンピック委員会においても「Ones to Watch」(注目すべき選手)に選ばれている、ニュージーランド最強のスイマーに注目です。

■今後のパラ水泳日本代表の出場予定大会

2017年9月30日～10月16日 世界パラ水泳選手権大会/メキシコ

■今後のジャパンパラ競技大会の予定

陸上競技：2017年9月22日～24日/とうほう・みんなのスタジアム(福島県福島市)

ボッチャ：2017年11月18日～19日/武蔵野総合体育館(東京都武蔵野市)

■大会に関する問い合わせ先

03-5939-7021 日本障がい者スポーツ協会